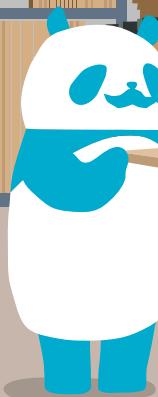


「木」ってエコなの？



「木」でできたもの、たくさんあるね！

ある日、パンダパパは本棚を作っていました。

「パパ、何してるの？」

「コパンダの本棚を作ってるんだよ。」

うれしくなったコパンダが、ぐるりとおうちを見渡すと
木でできたものが、たくさんあることに気が付きました。



「ねえパパ、もともとこの木は
どこに生えてたの？」

「うーん…それはパパにもわからないなあ…」

首をかしげるパンダパパのもとに
突然黒くて大きな鳥が現れました。

「こんにちは。私はサイチョウっていうの。
木のことを知りたいみんなに
森を案内しているのよ。あなたたちも行ってみる？」

「うん、見てみたい！
一緒に見に行こうよ、パパ！」
「そうだね！ 行ってみようか。」



木はどこの森から運ばれているの？

「実は、日本で使われる木の半分以上は、海外から来ているのよ。」

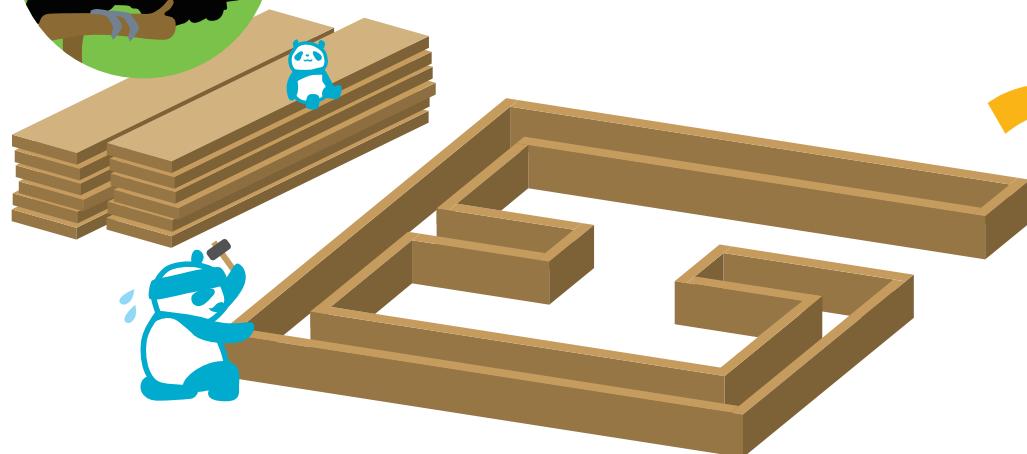
「海外から？ どこの国かな…」

「何に使われている木かで、違ってくるわ。

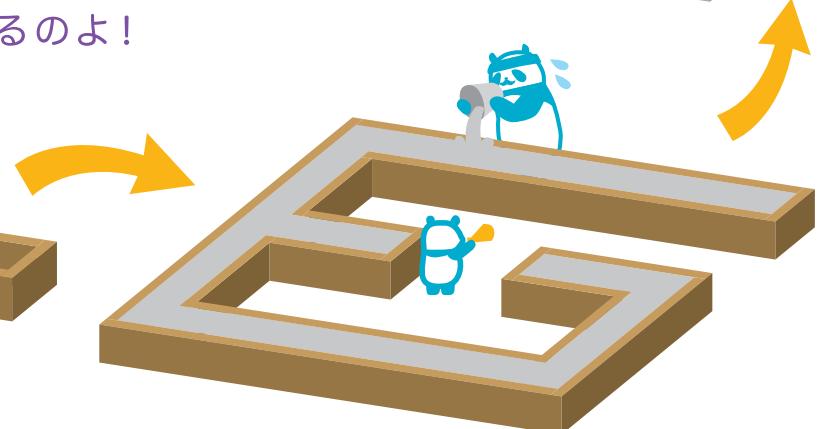
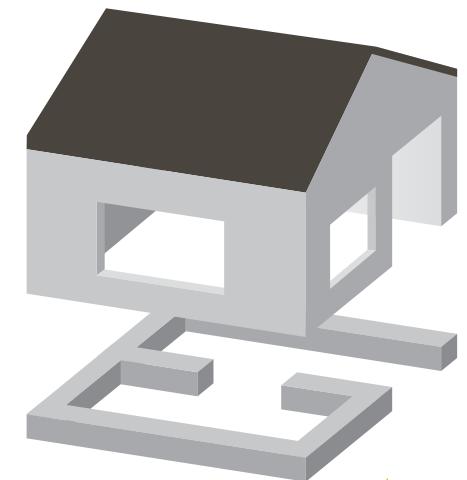
たとえばコパンダのおうちは、何でできているかしら？」

「うちは、コンクリートですね。」

「コンクリートのおうちにも、木が必要なの？」



かたわくごうはん
コンクリートを流し込む「型枠合板」は
マレーシアやインドネシアなどの暑い国から
運ばれた木がたくさん使われているのよ！



「もちろん、お家の中の床や柱には暑い国の木だけでなく、カナダやフィンランド、ロシアといった寒い国の木もたくさん使われているのよ。」

出典：平成30年度森林・林業白書 P.160

「寒い地域の森と暑い地域の森どちらにもお世話になってるんだね。」「どっちも見てみたいなあ…」

「いいわ！ 両方行きましょう。
じゃ、しっかりつかまっていてね！」
そう言って、サイチョウは二人を連れて勢いよく飛び立ちました。



寒い地域の森



「ふう、着いたわよ。」

目の前には色鮮やかなロシアの森が
どこまでも広がっていました。

スギやヒノキの多い日本の森とは
少し違う景色に親子パンダは
「うわあ！」と声を上げました。

「シカやイノシシたちが
松の実や草木を食べてるよ。」
「あ！ あそこにはトラの親子もいるよ！」



「人もいるね！ 狩りをしたり
キノコを探ったり、シカのお肉を干してる！」

「先住民の人々よ。ずっとずっと昔から
この森によりそって暮らしてきた人々なの。
でも見て、森では破壊が進んでいるのよ。
ああ、私のふるさとの森は大丈夫かしら。
心配になってきたわ…行ってみましょう！」

サイチョウは、くるっと方向を変えて
南を目指して飛んでいきました。



暑い地域の森

「着いた！ ここが私のふるさと
インドネシアの熱帯林よ。」

「わあ…」

「ものすごい高さの木ですね…」

「70メートルを超える木もあるの。

本当にたくさんの

生きものたちがいるでしょう。

森の中で暮らす先住民や

森の近くに住む

地域の人たちもいるのよ。」





「あれっ…こっちは森がなくなって
トラやゾウが困っているみたい…」

「実はこれまで、木が育つよりもずっと早いスピードで
たくさんの木が伐採されてきたの。
世界では30年間で、日本4.7個分の
大きさの森がなくなってしまったわ。
だから、今残る熱帯林も危ない状況なのよ。」



出典：世界森林資源評価 2020 (FRA2020)



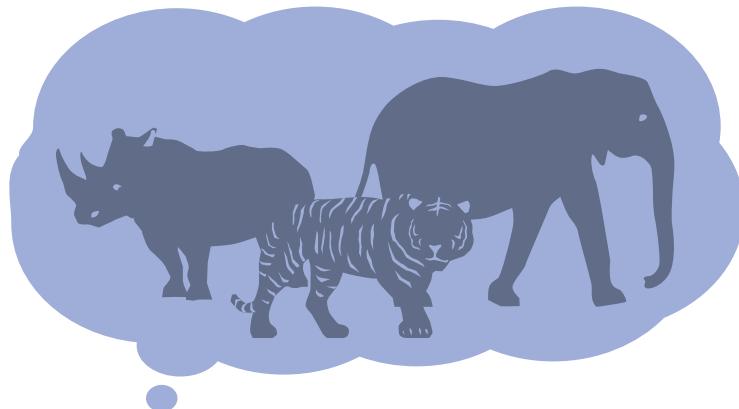
「森がなくなったら、どうなってしまうんですか？」
パンダパパは、サイチョウに聞いてみました。



地球の森が、なくなり続いている

「今地球では、毎週、大阪府と同じくらいの大きさの森が失われているの。」

出典：世界森林資源評価 2020 (FRA 2020)



野生生物

森が減ると、森にすむ生きものたちの
すみかや食べ物がなくなってしまう。
ゾウやトラ、サイなど、絶滅が心配されている
森の生き物は今、1万6000種類以上もいるわ。

出典：<https://www.iucnredlist.org/search>



先住民や地域の人々

森での暮らしや仕事が失われて、先住民の
人たちが追い出されてしまう問題もあるわ。
森を切り開く会社と地域の人々が争って
しまうこともあるのよ。

「インドネシアだけでなく、暑い国を中心にたくさんの
森がなくなっているのよ。世界の森がなくなることで
私たちの暮らしにも影響があるわ！」

わたしたちの暮らし

森には地球の気温をバランスよく整えてくれる働きがあるのよ。

森が失われることで地球温暖化が進むと、日本でも台風や大雨、熱波といった自然災害の被害がより深刻になると言われているわ。



動物由来感染症

新型コロナウイルスなどの感染症とも深い関わりがあると言われているのよ。森が破壊されることで、人とさまざまなか病原体を持っている野生生物との距離が近づいてしまうことが心配されているわ。



日本の森は…？

「でも…日本にも森はあるのに、日本の木は使われないんですか？」

「昔に比べると、日本の木も少しずつ使われ始めているのよ。

ただ、たくさん植えられてきたスギやヒノキが育った後

森のお手入れをする人がいなくて、荒れてしまった森も多いよね。」



お手入れする人がいなくなった森

木が生えすぎると、光が届きにくくなって…

地面に近い植物が
育ちにくくなる

木の実がならないので
シカやイノシシの食べ物がない



土がむき出しになって
洪水や地滑りが起こりやすくなる



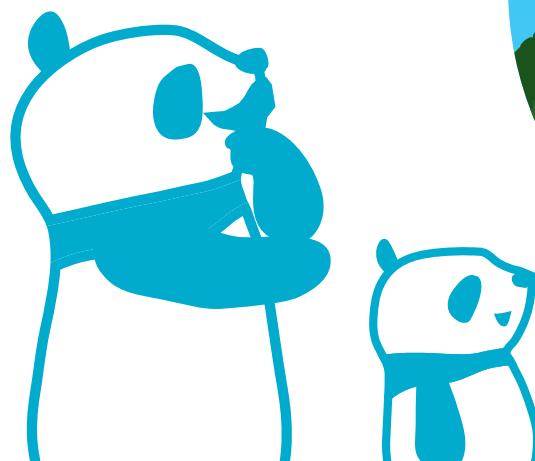
食べ物を探して
人のすむ村や町に出てきてしまう

日本の木でも、海外の木でも大切なことは同じ

「あっ！」コパンダはひらめきました。

「みんなで、日本の木を使つたらいいんじやない？」

「それも大切なことよね。それに日本でも海外でも
木材を生産するうえで気にしなければいけないことは
たくさんあるのよ。」



森が荒れないように
きちんとお手入れ
されているのかしら？



森で働く人に
きちんとお給料が
支払われているのかしら？

森の近くに住む人
からも、理解は
得られているのかしら？

木が伐られた後の森のことは
ちゃんと考えられて
いるのかしら？

危険な作業を
する人の安全は
守られているのかしら？

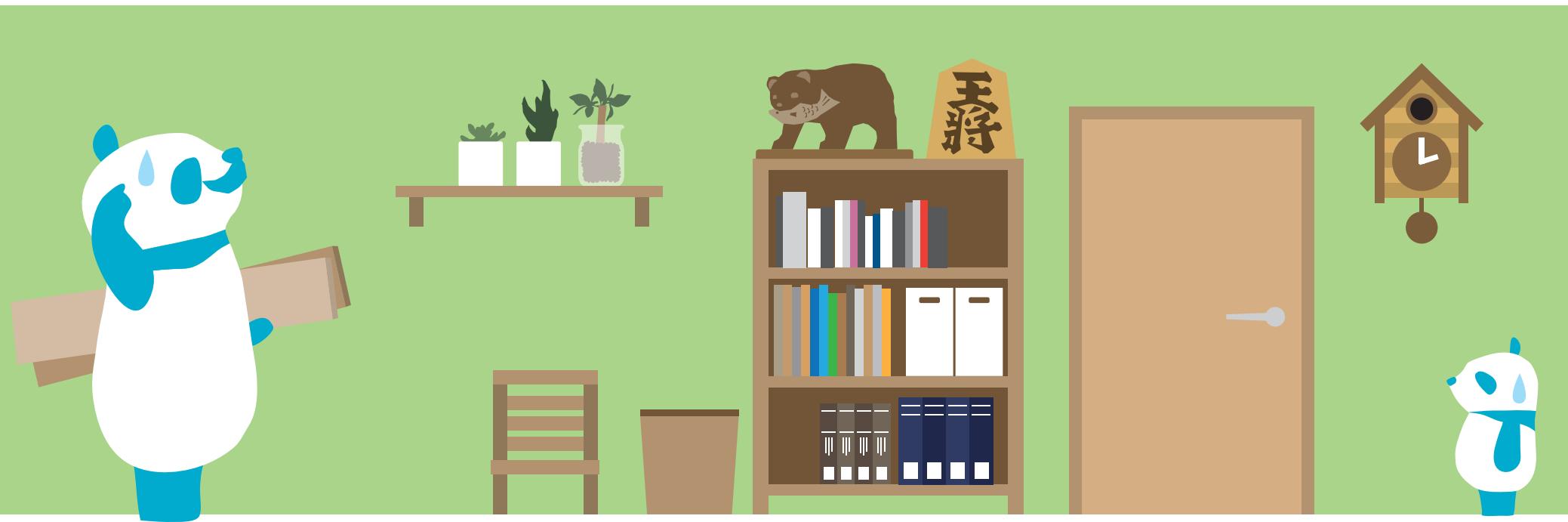
「こうしたことを気にかける
ことができたなら
森や生きものを守って
木を使い続けて
いくことができると思うの。」



木なら「エコ」だと思ってた

「木の種類や値段、デザインは気になるけどそんなこと、考えてみたこともありませんでした…

木を使っていれば“エコ”だと思っていました。」



「木は、使わないほうがいいの？」コパンダもしょんぼりした様子です。

「そんなことないわ。森や生き物を守りながら

みんなが使う木材も生産している森だってあるのよ。」

「えっ、どんな森なの？見てみたい！」

「いいわ！行ってみましょう。」



森を守るマーク FSC

「わあ、動物も人も生き生きと
暮らしてしているね！」

「『FSC®』って知っているかしら？
このマークの付いた製品を
選ぶだけで、こうした森を
広げるお手伝いができるのよ。」



FSCってなに？

「FSCは森をまもるマーク。

環境や社会、経済など10個の大切なことが
守られている証^{あかし}なのよ。」



原則 1

合法性

法律は守られているかな？



原則 2

労働者の権利

働く人の権利や安全が
守られているかな？



原則 3

先住民族の権利

先住民の権利は守られているかな？



原則 4

地域社会との関係

地域の人々と仲良くできているかな？

原則 5

森林からの便益

森の恵みを大切に使っているかな？



原則 6

環境

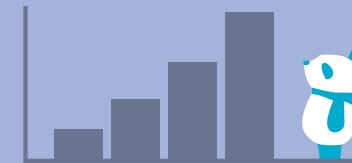
地域環境は守られているかな？



原則 7

管理計画

森の管理はきちんと
計画されているかな？



原則 8

モニタリング

森の状態はチェック
されているかな？



原則 9

高い保護価値

価値の高い森や場所は
守られているかな？



原則 10

管理活動の実施

植物や土や生き物は管理
されているかな？



日本にもある、FSCマーク

「知らなかったなあ…」とパンダパパ。

「日本にも、あるの？」コパンダは
マークを探してみたくなりました。

「木でできたテーブルや椅子などの家具
それからフローリングや床の木材
建物のコンクリートを流し込む板
『合板』にも使われているわ。」



©株式会社 鈴三材木店



©株式会社エコ建築考房



©株式会社ワイズ・ワイズ



©goto photo office



©トーヨーマテリア株式会社

ついていないとき、見えないとき

「FSCのマーク、見つけるぞ！」とコパンダはうれしそう。

「もし…マークがないときは、どうしたらいいんですか？」

「『FSCマーク付きの製品はありますか?』と聞いてみるはどうかしら。

探しているお客様がいることで、取り扱いを考えるお店もあるそうよ。

他にもインターネットで調べてみるのはどうかしら。」

「なるほど！さっそくお店で聞いてみます！」

パンダパパも、できることから

やってみようと思いました。



私たちにできること？

「FSCマークのついた木材製品はまだ少ないけれど
紙製品はとっても増えているわ。みんなに選ばれていくことで
健やかな森に囲まれた地球が、次の世代にも残されていくはず。
マゴパンダが生まれたずっと後の未来でもね。」
サイチョウはそう願いを込めて話し、南の島の森へ帰っていきました。
「うん、僕たちに任せてよ！」



あとがき

親子パンダが見た景色は、実際に今日も森で起きていることです。

私たちが選び、普段使っている家具や床材などの木材が生産された方法は森の環境に負担がかかりすぎていなかどうか？

現地の人々や野生生物の暮らしが、脅かされていないでしようか？

私たちが買うとき、使う時の「選び方」「考え方」が問われています。

身近な行動から、地球の環境をより良くしていくことができる。私たちはそんな世界にいます。

この小さな冊子がその一助になれば幸いです。



- 身近にどんな木の製品があるのか、関心を持とう
- インターネットなどでもっと詳しく調べてみよう
- FSCマークを探してみよう
- お店でFSCについて聞いて関心や要望の声を届けてみよう



さらに詳しく知りたい方は、
WWFホームページをご覧ください。



www.wwf.or.jp もしくは

WWF 木材

検索



WWFジャパン 〒108-0073 東京都港区三田 1-4-28 三田国際ビル3F Tel:03-3769-1241

WWFは、約100カ国で活動している環境保全団体です。そのプロジェクトはすべて皆さまからのご寄付で支えられています。
人と自然が調和して生きる未来を実現するために、ぜひWWFの活動にお力をお貸しください。

©1986 Panda Symbol WWF - World Wide Fund For Nature ®“WWF” is a WWF Registered Trademark

発行日：2021年3月

